

アドプトフォレスト活動への 取り組み

2023/11/9
株式会社 I - n e

INE

INNOVATION NEVER ENDS

1. 会社概要
2. アドプトフォレストでの取り組み
3. これから



INE

INNOVATION NEVER ENDS

会社名 株式会社 I - n e (証券コード: 4933)
設立 2007年3月
資本金 32億9,532万円 (2023年6月時点)
所在地 大阪府大阪市北区中之島六丁目1番21号
従業員数 310名 (2023年6月時点、臨時雇用者除く)
代表者 代表取締役社長 大西 洋平
子会社 国内1社、海外1社 (2023年6月時点)



MISSION

We are

Social Beauty Innovators

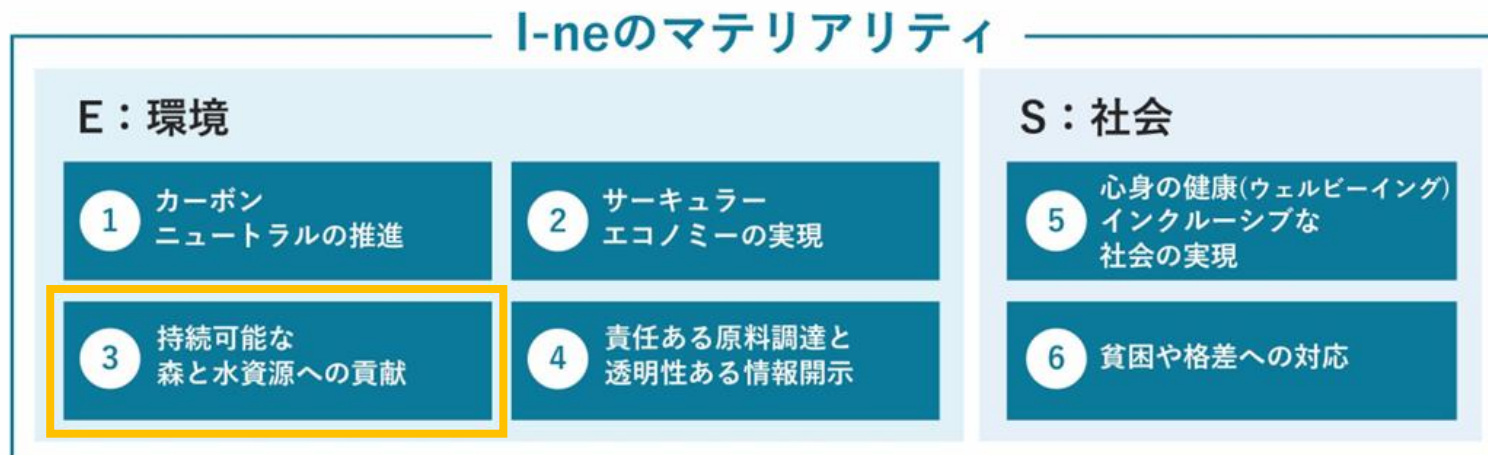
for

Chain of Happiness

私たちは、“美しく革新的な方法”で、
幸せの連鎖が溢れる社会の実現に挑戦し続けます。

マテリアリティと活動開始背景

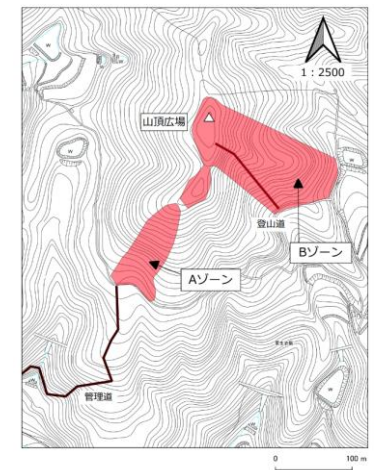
- ①大阪に本社を置く企業としての社会的責任・地域へ貢献活動
- ②I-neマテリアリティ（重要課題）である「持続可能な森と水資源への貢献」の実現
- ③従業員のボランティア休暇3日を使用した持続的な活動実施



アドプトフォレスト活動について

■ 鉢伏山森づくり

- ・ 活動場所 茨木市粟生岩阪
活動面積 計 2.1ha (Aゾーン 0.8ha / Bゾーン 1.7ha)
- ・ 背景 台風で被災し風倒木が発生した人工林の再生
- ・ 活動期間 令和5年4月～令和11年3月
- ・ 活動内容 森林保全活動 (間伐・下草刈り・植栽)
登山道整備活動 (ササ刈り、植栽)
- ・ 活動予定 年 4 回 (10～30名/回)



初回レクレーション・間伐

■ 活動詳細

- ・ 活動日：2023年4月11日（火）
- ・ 参加人数：33名
- ・ 活動内容：活動背景理解、鉢伏山台風被害地にある
立ち枯れた木の間伐



初回レクレーション・間伐

■ 体験談

「災害の状況やボランティアの方から歴史を聞くことで、**山を守る、育てることの大切さを学びました。** 伐採は初めての体験だったのでとても興味深く、木を伐採する方法が学べてよかったです。まだまだ伐採すべき木々があったので、もっとトライしたいと思いました。そして、移動でよく歩いたので、いい運動になりました。」



ササ刈り

活動詳細

- ・活動日：2023年6月6日（火）
- ・参加人数：12名
- ・活動内容：頂上・登山道に生い茂るササ刈り

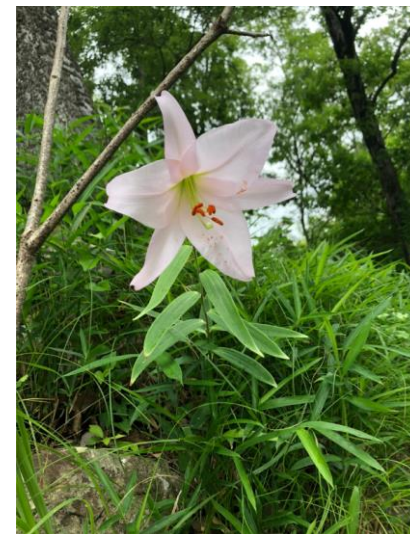


▲オリジナル看板・会社カラーのヘルメットを購入

ササ刈り

■ 体験談

- ・「雨の中の活動になりましたが、自然と接することができて、いい機会でした。ノコギリ鎌を使うのは初めてでしたが、教えてもらいながら上達できました」
- ・「現地までの小山登りで程よく運動でき、頂上で緑に囲まれながらの笹狩りでも気持ち良かったです！ **森林セラピーのおかげで好調**です。」



ササ刈り②

活動詳細

- ・活動日：2023年9月7日（木）
- ・参加人数：13名
- ・活動内容：登山道付近1～2mのササ刈り



ササ刈り②

■ 体験談

- ・「ササが山の他の植物や生態系に影響を与えるとは知らなかったのですが、少しでも貢献できて良かったです。またササユリのような初めて知った植物も多くあり、**毎回参加するたびに学びが得られて楽しいです**」
- ・「笹を刈るのがすごく集中できて、無心になり時間があっという間に過ぎました。道がきれいになった景観は爽快感がありました。」



地拵え

■ 活動詳細

- ・ 活動日：2023年10月3日（火）
- ・ 参加人数：9名
- ・ 活動内容：3月植樹予定エリアの下草刈り、除草



地拵え

■ 体験談

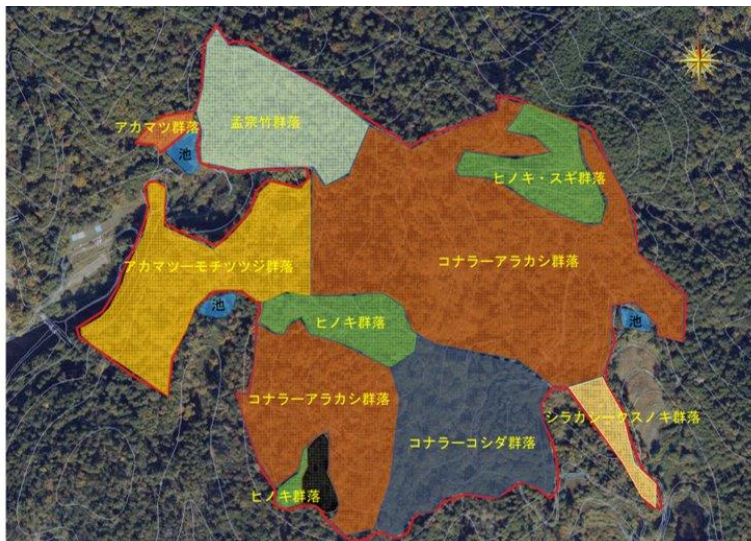
- ・「初見できれいにするのが難しいと思った下草刈りでしたが、**山頂の方はかなりきれいになって、達成感がありました。**景色もきれいでした！」
- ・「アドプトフォレストのそれぞれの工程に1日ずつ参加させていただきましたが、一番きつかった体験でした。前回、前々回参加したころとは季節も変わってきているので新しい植物や、昆虫と出会い学びになりました。」



植生調査

■ 概要

- ・ 調査目的：鉢伏山の現状を植物生態学的な知見を把握し、
長期的な活動計画へ反映
- ・ 調査内容：植生概況調査 ※来年、植生相調査等実施予定
- ・ 調査期間：令和5年10月～



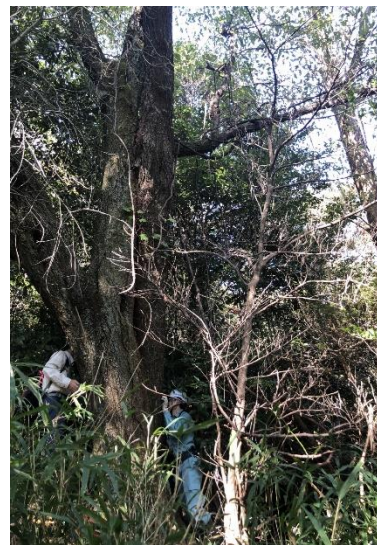
植生調査

■ 今後の取り組み

- ・ 各種調査結果をもとに自治会の方や関係者の方と将来に受け継ぐ鉢伏山の保全計画を検討
- ・ 豊富な自然資源に着目し、**生物多様性の観点でより地域にとって価値のある取り組みを進めていきたい**



▲旧里山風景



▲自生の山桜